

窒素酸化物総量規制に係るばい煙発生施設使用計画届出書

大 阪 市 長 様

届 出 者 住 所

氏 名

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪市総量規制に係るばい煙発生施設使用計画届出要綱第3条の規定により、工場又は事業場全体の窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	(電話番号 )	※ 整 理 番 号	
		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
工場又は事業場の所在地	(郵便番号 )	※ 施 設 番 号	
		※ 審 査 結 果	
窒素酸化物に係る ばい煙発生施設の 使用計画	別紙1及び別紙2のとおり	※ 備 考 ( 収 受 印 等 )	

参 考 事 項			
工場又は事業場の事業内容		届 出 す べ き 者 が 常 時 使 用 す る 従 業 員 数	
工場又は事業場の規模		資 本 金	
当該届出についての担当部課名及び緊急時連絡先 (電話番号)			

- 備考
- ※印の欄には、記載しないこと。
  - 別紙2は、当該工場又は事業場が対象工場等に該当しなくなった場合は不要とする。
  - 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

## 窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画 (1)

施設番号	施設の区分		施設の種類	施設の設置年月日	施設の規模	原料及び燃料の最大燃焼能力(定格) 〔 kL/時 10 <sup>3</sup> Nm <sup>3</sup> /時 t/時 〕	使用する原料及び燃料				換算係数			原料及び燃料使用量の重油換算値(定格)  W <sub>NOx</sub> (kL/時)	使用方法			備考
	令別表第1の項番号	施設係数に係る区分					種類	混焼割合(%)	比重	総発熱量 kJ/kg kJ/Nm <sup>3</sup>	燃 料				交互	予備	休止	
											原料換算係数	換算係数	特別の換算係数					
合 計																		

- 備考 1 合計には、交互使用の施設のうち予備の施設として扱うもの、予備の施設及び休止の施設は含めないこと。
- 2 複数施設を交互使用する場合は、「交互」の欄に○印を記入し、○印の中に交互使用する相手の施設番号を記入すること。

## 窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画(2)

施設 番 号	施設の区分		単位乾き 排ガス量 G <sub>0</sub> '  ( $\text{Nm}^3/\text{L}$ ) ( $\text{Nm}^3/\text{kg}$ ) ( $\text{Nm}^3/\text{Nm}^3$ )	排出ガス量  (乾き定格) 0 <sub>2</sub> 0%換算)  ( $\text{Nm}^3/\text{時}$ )	総量規制基準・指導基準					施設管理値		NO <sub>x</sub> 対 策の内容	使用方法			備考		
	令別表 第1の 項番号	施設係 数に係 る区分			排出ガス量 ( $10^4\text{Nm}^3/\text{時}$ )		施設係数		C・V	C <sub>i</sub> ・V <sub>i</sub>	NO <sub>x</sub> 許容 排出量 Q  ( $\text{Nm}^3/\text{時}$ )		N値  (ppm)	最大NO <sub>x</sub> 排出量  1/100・N・(V+V <sub>i</sub> ) ( $\text{Nm}^3/\text{時}$ )	交 互		予 備	休 止
					V	V <sub>i</sub>	C	C <sub>i</sub>										
合 計																		

- 備考 1 合計には、交互使用の施設のうち予備の施設として扱うもの、予備の施設及び休止の施設は含めないこと。
- 2 複数施設を交互使用する場合は、「交互」の欄に○印を記入し、○印の中に交互使用する相手の施設番号を記入すること。
- 3 施設管理値を変更しようとするときは、当該施設に係る施設別NO<sub>x</sub>データ整理表(別紙3)を添付すること。

## 施設別NO<sub>x</sub>データ整理表

施設の種類 ( )		施設番号 ( )	※工場・事業場番号 ( )					
測定日	NO <sub>x</sub> 対策名	原燃料の種類及び 原燃料使用量	①負荷 (%)	②実測NO <sub>x</sub> 濃度[ppm]	③実測O <sub>2</sub> 濃度[%]	換算NO <sub>x</sub> 濃度 (ppm)	測定法	備考
過去のNO <sub>x</sub> 測定データを古いものから順に記入	低NO <sub>x</sub> 対策を講じた時、又は燃料転換等施設に変更があった時は、測定日に対応してその内容を記入	測定時における原燃料の種類及び使用量  単位は (液体 L/時 固体 kg/時 気体 Nm <sup>3</sup> /時) で記入	測定時における負荷	測定時におけるNO <sub>x</sub> 濃度	測定時におけるO <sub>2</sub> 濃度	O <sub>2</sub> 濃度が0%の状態に換算したNO <sub>x</sub> 濃度  ④=②×21/(21-③)		同機同規模施設の測定データ等について記入

グラフ貼付  
又は別紙として添付

[測定データに関する特記事項]

備考 負荷及び換算NO<sub>x</sub>濃度の特性線図を添付すること。

(注) ※印の欄には記入しないこと。